

令和8年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎中学校

教科	技術	学年	2
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
木材・金属・プラスチックの特徴	2	それぞれの材料の特徴を理解する。	身の回りの製品に使われている材料は製品の強度・耐久性・費用・環境への負荷などを理解する。
製作品の構想・設計	1	製作品の構想を製作に必要な図に表す。	製作に必要な図の描き方を理解する。
製作手順を考えた製作(金属加工)	15	それぞれの工程に必要な知識を身に付ける。	安全・適切な工具を選択し、製作ができるか。また、他者と協働して、粘り強く取り組む。
◆これからの材料と加工の技術	1	持続可能な社会の構築のため、これからの材料と加工の技術について考える。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を評価できる。
生物育成の技術とは	2	生物育成の目的をしる。	生物を育てる技術の目的について理解する。
作物の育成環境を調整する技術	2	作物の育成環境を調節する技術について調べる。	作物の育成環境を調節する技術について理解する。
動物を育てる仕組み	1	人と動物との関わりについて知る。また、家畜としての動物の利用方法を知る。	動物を健康に育てるための技術を理解する。
★問題解決の評価	1	家庭、学校、社会における生物育成の技術によって解決できる問題を見つける。	「技術の見かた・考え方」を働かせ、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付ける。
安全に利用するための情報モラル	2	情報の特性について考え、情報が社会に与える影響について考える。	情報の特性を理解して、情報を安全に利用することができる技能を理解する。
◆安全に利用するための情報セキュリティ	3	情報セキュリティを実現するための3つの要素をしる。	情報セキュリティの基本的な知識を理解する。
エネルギー変換技術とは	4	生活や社会の中で、利用されているエネルギー変換を知る。	生活や社会の中で利用されている。エネルギー変換の技術について理解する。
★まとめ	1	1年間の学習を振り返り、社会に役立てる方法を考える。	技術で学んだことを理解し、活用できる力を身に付ける。